

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。梅雨も明けて、本格的な夏到来。猛暑が続いていきますので、熱中症にかからないように気をつけてください。

「節電熱中症」という言葉も生まれました。福島第一原子力発電所事故の影響に加え、各地の原子力発電所の再稼働について議論百出のため、全国的に節電が行われていることはご承知のとおりです。

節電に気を遣うあまり、暑くてもクーラーを使わずに我慢していると、知らないうちに意識が朦朧(もうろう)として熱中症にかかることを「節電熱中症」と呼んでいます。たしかに節電は必要です。しかし、健康優先、健康第一で対応してください。首に濡れたタオルやハンカチを巻くだけでも、熱中症予防策として効果があるそうです。是非お

試してください。

クーラー以外の部分で節電できる工夫はたくさんあるはずです。家庭や事業所、商店で、テレビをつけられないようにするだけでも相当の効果があるようです。テレビ局も日中の放送自粛に交代で取り組んでくれるといいですね。

今年の夏は、クーラーを適度に効かせた部屋で、読書をしてはいかがですか。これまでの日本のこと、これからの日本のこと、今後のエネルギー政策のあり方、日本人や自分自身のライフスタイルや生活習慣のこと。そして、生きるとはどういうことなのかということ。地震や津波による約二万人の犠牲者の皆さん。三月十一日の朝、その日の夕方に自分の人生が終わると予感した人は、当然ひとりもいなかったでしょう。改めてご冥福を

お祈り致します。

「人はいかに生きるべきか」「人生とは何か」「支え合うということはどういうことか」。いずれも深遠な問題ですが、今の日本は、そういうことを沈黙考することが必要な局面です。親しい人と話し合ってみることも、新たな気づきにつながるかもしれません。

今年の表面(弘法さんかわら版)のテーマは「日本への仏教伝来と聖徳太子の生涯」。日本での仏教普及の功労者である聖徳太子も「人はいかに生きるべきか」「人生とは何か」「支え合うということはどういうことか」を自問自答し続けた生涯であったようです。

新盆、旧盆にあたり、東日本大震災の犠牲者のご冥福を祈りながら、静かに考え、心を整える夏にしたいと思います。

※



かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭ヶ丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元覚王山に事務所を開き、故郷覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ10年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

鳩山内閣、第1次菅内閣で内閣府副大臣を務める。2011年1月、菅改造内閣の厚生労働副大臣に就任。

みんなは、ながれ☆にどんなおねがいをするのかな？



虹の森に住む動物たちは、流れ星に3回願い事をすれば叶うという言葉に、何度もチャレンジします。やっとなんとか願いがかけることができた流れ星は、なんとエネルギー切れで不時着したUFOだったのです。宇宙人の出現にダマレーダーもびっくり、またもや悪巧みを考えますが…。

8月19日(金)

名古屋市公会堂

8月20日(土)

春日井市民会館

12:30開場/ 13:00開演

入場券/全席自由 1,900円

お問い合わせ 名古屋カッパ友の会 TEL 052(761)5334

